



鳴滝通信最終号

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和2年3月13日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 玉 梶 香 織

令和元年度の全授業が終了しました。2月に入り、感染症拡大防止に関する対応のため、臨時休業期間が入ったり、修了式の日が早まったりと、予定とは違う流れで日々過ぎていく中、児童生徒にいたってはその都度 臨機応変に対応し、1日1日を大切に過ごすことができました。

来週からも臨時休業日が続く、その後 春季休業期間に入ります。不要不急の外出を控え、体調管理につとめて下さい。またこの機会にぜひ、1年を振り返り、「できたこと」「成長したこと」や「これからがんばりたいこと」「今後の課題」などを整理しておきましょう。そうすることで自信も生まれ、「来年度もがんばるぞ!」という意欲もわいてくると思います。

保護者の皆さま、令和元年度の学校運営にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。来年度も、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

第43回 卒業証書授与式



3月6日（金）、卒業証書授与式が挙行され、学校長から生活産業科22名に卒業証書が授与されました。気遣いができる優しい生徒たちで、後輩からも大変 信頼されていました。

在校生代表からの送辞を受け、卒業生からは答辞として、3年間の振り返りや後輩へのメッセージが述べられました。卒業生が残してくれた言葉をしっかりと受け止め、4月からも頑張っていきましょう。

答 辞

時代は平成から令和と移り変わり、初めての春を迎えました。

（中 略）

また、生活産業科の私たちにとって、将来の自立を目指した職場実習を抜きにこの三年間を語ることはできません。

（中 略）

先生方は、厳しく指導をして下さったり、優しく見守って下さったりと、その時々に必要な指導を行って下さいました。

自分の課題と向き合うことは、とてもつらく逃げ出したくなりましたが、そんな時まわりを見ると、課題はちがうけれど同じように悩み、苦しむ友達がいることに気が付きました。

自分の悩みは誰にもわかるはずがないと思っていたのですが、「一人ではない」「悩みのない人はいない」と感じた時に、自分の殻を破る勇気がわいてきました。

（中 略）

在校生の皆さん、学校生活の一日一日では、自分の成長に気付かないかもしれませんが、私も三年生のこの時期になってみて、「自分も成長したんだな」と振り返ることができるようになりました。だからこそ、皆さんも一日一日を大切に過ごして下さい。そうして過ごした一日が、皆さんの明るい未来につながっていくのです。皆さんそれぞれに、自分の道を切り開いていくってください。応援しています。



今後の予定

- | | |
|---------------|---------|
| 4月 8日（水） | 着任式・始業式 |
| 9日（木） | 入学式 |
| 10日（金） | 身体計測 |
| 10日（金）～16日（木） | 特別時間割 |
| 15日（水）～22日（水） | 家庭訪問期間 |
| 29日（祝） | 休日参観日 |



※ 予定は、変更になることがあります。4、5月の予定については、新年度に改めてお知らせします